

会見小だより

令和4年7月8日

第4号

南部町立会見小学校

夢や希望をもち、仲間と共に努力する 会見の子

「和」の心で

校長 森川 寿子

短かった梅雨が早々に明け、暑い毎日が続きます。夏休みまであとわずかとなりました。プールに入る時間が、待ち遠しい子どもたちです。

先月南部町に講演においでになった、京都清水寺の森清範貫主より「和」の文字を揮毫いただきました。森貫主は、毎年年末に日本漢字能力検定協会が行う今年の漢字でも有名なお方です。

「和」の文字には、「おだやか、のどか、ゆるやか、あたたか、はげしくない、気が合う、なかよくする、争わない、争いごとがなく穏やかにまとまる」等の意味があります。その他にも、日本をさして和とよぶことがあります。また、足し算の答えのことを和とも言います。

足し算と言えば、会見小学校の校舎の階段のところに、「思いやり算」という掲示があります。足し算のところには、「たす (+) け合う～助け合うと大きな力に」、引き算のところには、「引き (-) 受ける～引き受けると喜びが生まれる」、掛け算のところには「声をかけ (×) る～声をかけると一つになれる」、割り算のところには、「いたわる (÷) ～労わると笑顔が返ってくるよ」と書かれています。素敵な計算ですね。

「和」は足し算ですから、いただいた文字は、会見小の「思いやり算」でいえば、「助け合う」という意味になります。

今年の会見小学校の学校教育目標は、「夢や希望を持ち、仲間と共に努力する 会見の子」です。一人一人が、「自分だけ良ければいい」とか「自分が楽しければいい」という考えで過ごしていたら、良い学校はできません。ああなりたい、こうなりたいという夢や希望を実現するための力を伸ばすには、皆が「和」の心を持ち、助け合い、安心して学校生活を送れることがまずは大切です。

「和」の心を普段の生活の中でも意識して、残り少ない一学期を充実したものにしていってほしいです。

この文字が書かれた色紙を見童玄関のところに飾っております。小学校においでの際は、是非ご覧ください。



6月：子どもたちの活動の足跡

修学旅行に行ってきました

6月9日（木）10日（金）に6年生が修学旅行に行ってきました。今年度も鳥取県内を中心に回り、ふるさと鳥取県の良さを再発見してきました。1日目は、海と大地の記念館、鳥取砂丘、仁風閣、新日本海新聞社本社と鳥取市内で見学や体験をしました。三朝温泉に一泊した後、2日目は、倉吉市内をフォトロゲイニング（オリエンテーリングをしながら、指定された写真を撮ってくる活動）したのち、円形ミュージアムを見学し、午後は蒜山高原センターで遊園地を楽しみました。天候にも恵まれ、鳥取県の自然と歴史を中心にしっかりと学習や体験を重ね、たくさんの思い出を作ることができました。



大山協同体験活動をしました

6月14日（火）15日（水）には、4年生が大山青年の家を中心に協同体験学習に行きました。こちらは、宿泊なしで2日間大山に通いました。1日目は、カヌーとボッチャを体験し、2日目は、野外炊飯でピザ作りに挑戦しました。大山ならではの自然と親しむ活動や、友達と協力して物事をやり遂げる活動に取り組み、仲間の絆を育て、一回り大きく成長した4年生でした。



今年もNIE教育に取り組みます

昨年度に引き続き、NIE教育（Newspaper in education：「教育に新聞を」）に取り組んでいます。県内で4校指定を受けており、小学校では会見小学校1校です。学年に合わせていろいろな学習に取り組んでいますが、2年目の今年は、学習の中に新聞を活用したり、子どもたちが新聞づくりの体験をしたりといった機会を増やしています。新聞社の協力も得て、直接出前授業においでいただいたり、リモートで新聞社とつないでお話いただいたりする学習にも取り組んでいます。

【お願い】

コロナ対策、熱中症対策といつもお配慮いただき、ありがとうございます。

様々な活動が再開されつつあります。活動後の登校等、不安がある場合には学校にご相談いただきますようよろしくお願いいたします。

